

## 令和4年度 第4回益城町地域公共交通会議

日時：令和5年（2023年）1月26日（木） 10：00～11：00

場所：益城町交流情報センターミナテラス 視聴覚室

出席者：20名（欠席2名）

内容：

### 1. 開会

事務局より、会議成立報告および資料確認。

### 2. 会長（副町長）挨拶

- 本日は、委員の皆様方には、年初めの大変お忙しい中、また、強烈な寒波が襲来して交通事業者の皆様には大変な中、本会議にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。
- 交通事業者の皆様においては、新型コロナウイルスの感染にはじまり、さらには円安、原油価格の高騰など、大変厳しい状況が続いている。町としても、コロナ交付金等を活用し、昨年11月より「物価高騰等対策事業者応援金」「タクシー事業者等感染防止対策等応援補助金」を実施している。ぜひ皆様方にもご活用いただきたい。
- 最近の町の状況としては、ご承知のように平成28年熊本地震からやがて7年になろうとしている。復旧・復興へ向けて取り組んでいるが、今年3月には役場の新しい庁舎が完成する予定で、5月の連休明けには業務をスタートできると考えている。また、新しい庁舎の南側には交通広場の整備を予定しており、お手元にお配りしているとおり、県道熊本高森線沿いの駐輪場整備にも取り組んでいる。
- さらに、空港新ターミナルビルの供用開始、東海大学臨空キャンパスの4月の開校、隣の菊陽町でのTSMCの進出等がある。また、町の中でも民間の土地区画整理事業が着実に進んでおり、町の様相も大きく変わっていく。このようなときに大事なことは公共交通であり、非常に大きな役割を果たすもの。皆様方と一緒に町民の利便性の向上、生活の向上に向けて施策を推進できるよう取り組んでいきたい。
- 前回の会議においては、福田地区乗合タクシーの運行内容見直しおよび津森地区乗合タクシーの実証事業についてご審議、ご意見をいただいたが、本日は、その実績とともにいよいよ津森地区での本格運行についてご審議をお願いしたい。
- 長時間となるが、皆様方の忌憚のない審議をお願い申し上げて挨拶の言葉とさせていただきます。

### 3. 報告

#### (1) 福田地区乗合タクシー事業利用実績について

#### (2) 「益城町駐輪場整備計画」の配布について

事務局より、報告資料、益城町駐輪場整備計画に沿って説明

委員)

駐輪場整備計画の最後に「レンタサイクル・コミュニティサイクル」の記載があるが、熊本市内でも今年度4月から「Charichari」という新しいシェアサイクルを導入している。当初は利用が少ないのではという心配があったが好評で、熊本市内でシェアサイクルを利用する人が増えているということでもある。益城町でもレンタサイクル・シェアサイクルを導入すると、訪れた人たちの移動にもつながる。

乗合タクシーのシンボルマークをつくるなど、デザインも工夫しており、非常に良い取り組みである。今後も改良するべきところは改良しながら、引き続き取り組んでいただきたい。

事務局)

レンタサイクルについては、駐輪場整備計画の38ページ「駐輪場整備方針マップ」をご覧ください。整備についてはパターンを2つに分けている。

青が「通勤・通学型」で、自転車を利用する高校生などの年少人口が多い地区に配置している。ピンクの惣領地区駐輪場と交通広場駐輪場は「回遊型/ウォークブルまちづくり型」としており、通勤・通学だけではなくまちのにぎわいなどを意識している。この2か所についてはレンタサイクルやシェアサイクルを検討する方向で考えている。

### 4. 議事

#### (第1号議案) 津森地区乗合タクシー事業の本格運行について

事務局より、資料1-1、1-2、1-3に沿って説明

委員)

乗合タクシー運行の協力をしている。福田地区は安定してきているが、津森地区はまだだと感じる。私は、個人的に益城町の農業生産者の生きがいづくりとして毎週もやい市をやっていて、その中に津森地区の方がいらっしゃるが、乗合タクシーについてご存じない方もいる。

町で今後も集会等をまわると聞いて安心した。高齢の方は1回説明だけではシステムがわからないこともあるので、根気よく説明してまわられると継続して利用される方が増えるのではないかと。

事務局)

回覧やチラシを配ったことでわかってもらった気になっているが、地域に入ると事業をご存じなかったり、よく内容がわからなかったと言われたりすることがある。引き続き地域に入って周知に努めたい。

委員)

周知徹底が大事だとお話があったが、その通りだと思う。新規事業をする際、町の担当の方もいろいろな形で啓発をされているが、なかなか周知徹底というのは難しい。

町議会も 18 名の議員が各地区にいる。私の方からも各議員に話をしたい。特に津森地区については、地元の議員さんと話しながら町と一体となってこの事業を進めていきたい。

- 第 1 号議案について賛成・承認

## **(第 2 号議案) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について**

事務局より、資料 2-1、2-2、2-3、2-4 に沿って説明

委員)

公共交通の課題で広報というものが先ほどから出ている。提案だが、3 月に木山初市が開催される。主に町内の方が集まる場となるので、乗合タクシーのチラシを配布するような場所を設けてはどうか。

また、もやい市も町から協賛金をいただいているので、会場でチラシを配布するご協力をさせていたきたい。広報活動もできることをみんなでやっていけば、利用者数も増えるのではないかと思う。

事務局)

ぜひお願いしたい。木山初市も担当課に参加できないか相談する。

- 第 2 号議案について賛成・承認

## **5. その他**

委員)

県内の地域公共交通会議に数多く出席しているが、益城町は非常にいい取り組みをしていると感じる。特に、乗合タクシーと路線バスのすみ分けや共存を意識して取り組みをされている。

利用促進に関しても、地域に入られて熱心に取り組みをされており、他の自治体にはなかなか取り組みだと思っている。円山先生や事業者さんと協力して進められており、県内でも頑張っている自治体だと認識しているので、引き続き取り組んでいただきたい。

会長)

褒めていただいたが、それに甘えず、引き続き頑張っていきたい。

事務局)

会長挨拶でもあったが、役場が 5 月に新庁舎に移転予定。木山・広安循環線が仮設庁舎の駐車場を回って運行しているが、移転後には仮設庁舎は解体するため、運行ルートと停留所の場所を変更したい。「仮設庁舎前」停留所は南側の災害公営住宅からの利用があるため、南へ移動する予定。福田地区乗合タクシーと津森地区乗合タクシーも「役場仮設庁舎」を「役場庁舎」へと変更する。3 月に書面での会議を予定している。

委員)

地区の老人会の新年会で、福田地区と津森地区の乗合タクシーの話をした。広崎の方から「もう運転をしないので、役場へはタクシーで行っている。利用はできないか？」とお尋ねがあったので、地区外での利用はできないと回答した。広崎の災害公営住宅もそうだが、バス停まで遠い地域もある。小型のワゴン車でもいいので回してほしい。

事務局)

広崎地区は、メインとなる県道熊本高森線のバス停まで距離がある地域があることは認識している。一昨年策定した「地域公共交通計画」にも、広崎地区においてはコミュニティバスの運行等の施策を挙げているので、地域にも相談し、しっかり検討を重ねた上で何らかの交通の導入を行っていきたい。

## 9. 閉会

以上